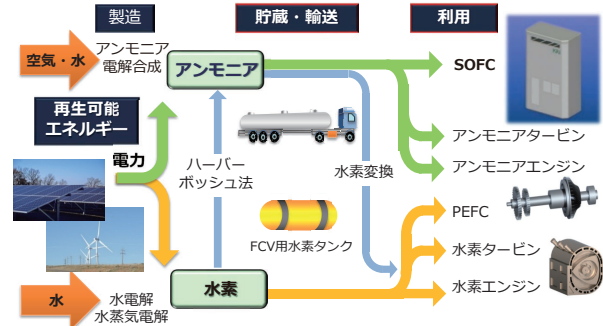


燃料アンモニアエネルギーシステムの開発

アンモニアを燃料利用するエネルギーシステムの開発をサポートします

背景

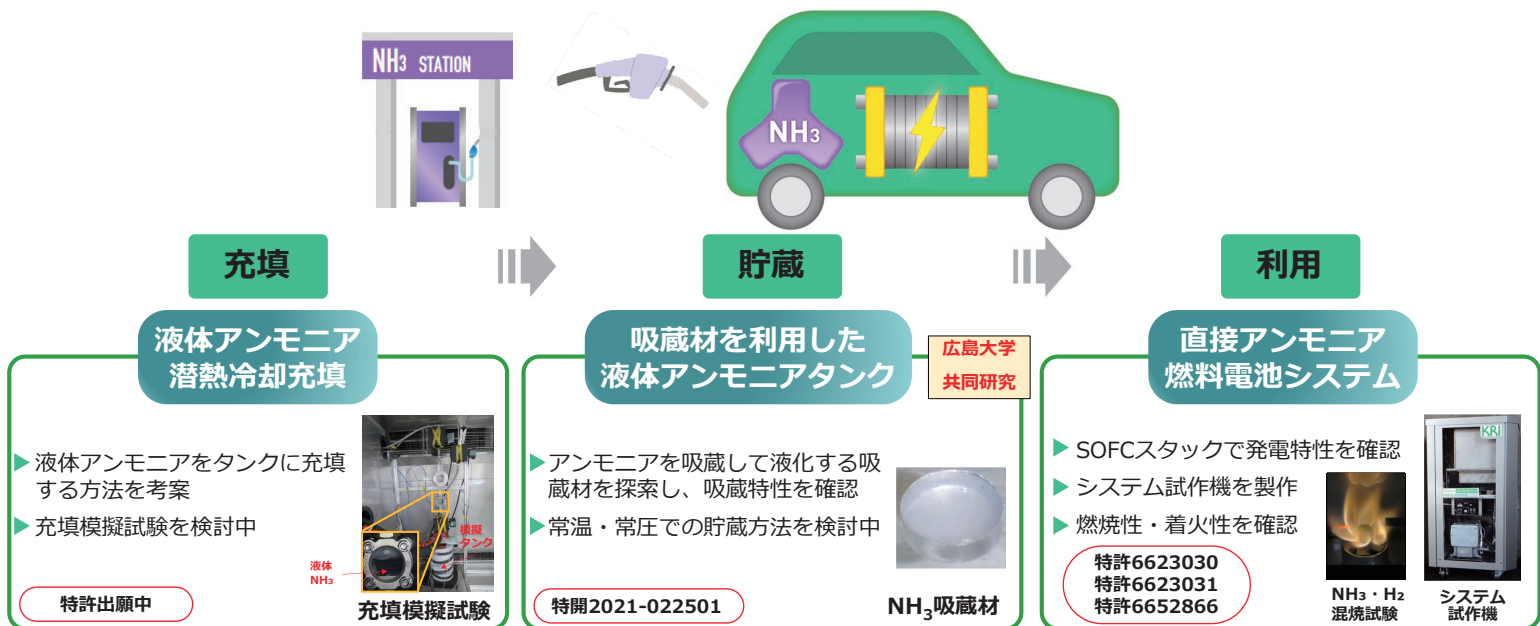
- アンモニアは古くから肥料などに広く利用されています。
- 水素キャリアの一つとして位置づけられ、運搬が容易である点に優位性が見出されています。
- 近年、燃やしてもCO₂が出ないカーボンフリー燃料「燃料アンモニア」として、火力発電での混焼・専焼や、工業炉や船舶用燃料および燃料電池の燃料としての利用が期待されています。



KRIの考える燃料アンモニアエネルギーシステム

アンモニアの充填～貯蔵～利用を実現する独自のエネルギーシステムを検討しています

- 常温・常圧下でアンモニアを貯蔵するには、ガスの状態で貯蔵する必要があります。
- 液体アンモニアを充填して貯蔵する方法や、燃料電池の燃料に利用する研究を進めています。



ご提案

アンモニアに関する開発・評価を、豊富な経験とインフラでサポートします

- お客様の開発内容に合わせた、試験装置設計から試作・評価まで一貫して対応いたします
- アンモニア専用インフラを利用して安全に評価ができます
- アンモニアが液化する極低温環境下での実験が可能です



アンモニア供給設備

貯蔵量：50kg×2



アンモニア除害設備

処理風量：3000m³/h



大型恒温槽

内容積：800L
温度：-70℃～100℃